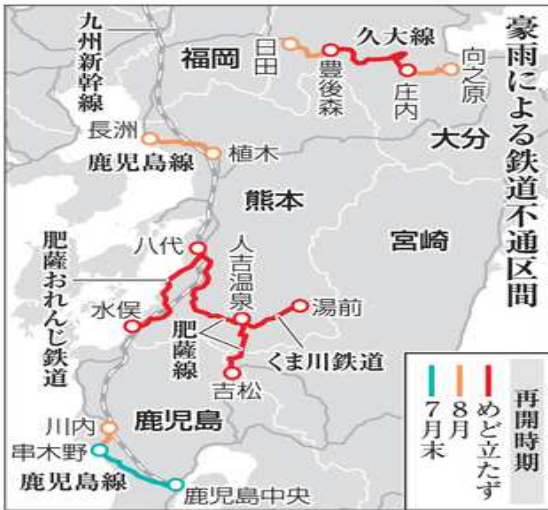




豪雨災害による被害深刻!

毎年のように起きる災害!



7月3日以降、数日間にわたり、九州各地や全国で大雨に見舞われました。特に熊本県や中部地方を中心に線状降水帯が発生し、集中豪雨の結果、各地で河川の氾濫など甚大な被害が発生しました。50年に一度の大雨が毎年のように襲ってくるという異常気象が続いています。今回の大雨で、全国の死者は78人、行方不明者4人、床上浸水7千件を超えるという大災害となりました。

またJRでも17路線で計730カ所の被害が出ました。特に肥薩線、久大本線

の被害は甚大で肥薩線で450カ所久大本線で145カ所と両線で8割を超えています。

肥薩線では、八代駅〜吉松駅間 8.68キロが不通となり、瀬戸石駅・球泉洞駅のホームが流失しました。また、鎌瀬駅〜瀬戸石駅間の球磨川第一橋梁と那良口駅〜渡駅間の第二球磨川橋梁が流失し、その他多数の個所で路盤・道床流失など被害ができました。

久大本線では豊後森駅〜向之原駅間 4.1キロが不通となり、豊後中村駅〜野矢駅間の第二野上川橋梁が流失し、その他多数箇所です砂の流入、流出等が発生しています。どちらも復旧の目途はたっていないようです。

会社は記者会見で、両線の復旧は未定で、鉄橋を直すにしても費用もわからない」と述べ原型復旧を進めるかどうか明言しませんでした。沿線自治体と協議を進めるとのことですが、日田彦山線では、鉄道復旧を前提としながら結果BRT方式になるという前例があります。今回の被害は両線合わせると127キロ

に及び日田彦山線の時とは規模が違います。この間国労として指摘してきた通り、九州での災害が毎年のものであり、それを前提して株式を上場した経緯があります。

国労は、有名な温泉地帯を走る久大本線「日本三大車窓」がある肥薩線の鉄道で全面復旧を目指して、利用者や沿線自治体と一緒に運動を強化していきます。

●契約年齢:0歳〜満85歳まで●

▽...上皮内新生物は保障の対象外

プランに組み込まれた特約

診断 一時金として	それぞれ1回限り がん 50万円 上皮内新生物 50万円	手術 1回につき	20万円	がん 先進医療	がん先進医療給付金 1回につき 先進医療にかかる技術料のうち自己負担額と同額 がん先進医療一時金 1回につき	15万円
特定診断 一時金として	1回限り がん 50万円	放射線 1回につき	20万円	複数回 診断	1回につき がん 上皮内新生物	50万円 5万円
入院	1日につき 10,000円	抗がん剤・ ホルモン剤	治療を受けた月ごと 10万円 (給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんの ホルモン剤治療のとき 5万円 (給付倍率1倍)	特定保険料 払込免除	免除事由に 該当後の保険料は いたしません。	
通院	1日につき 10,000円					

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック
東京第二法人営業部
東京都港区西新橋2-1-1 新橋三井ビル19F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658
AFLAC 募集番号:2017-0036 1R129